

関東東海北陸農業試験研究推進会議 果樹部会
令和7年度現地研究会 開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 果樹部会
部会長 農研機構 果樹茶業研究部門 児下佳子

1. 趣旨

果樹農業は、気候変動や人材不足等の様々な環境変化の影響を受けるため、それらの変化に対応した技術の開発が必要である。また、果樹農業の振興には、新たに果樹栽培に取り組む生産者を増やすことが欠かせないが、成園化に時間を要し、安定生産には剪定等高度な技術を要することが障壁となっている。

そこで、本年度の現地検討会では、果樹を中心に事業多様化を図っている経営体のキウイフルーツ農園を視察するとともに、研究会では、その経営体の事業概要や水稻育苗ハウスを活用したブドウ栽培技術の開発により新たな果樹生産者を増やしている事例等について話題提供を受け、今後の研究方向について検討を行う。

2. 開催日時・開催場所

- 1) 研 究 会： 7月16日(水) 13:30 ～ 16:45
三重県教育文化会館 3階第5会議室（三重県津市桜橋 2-142）
- 2) 現地検討会： 7月17日(木) 8:30 ～ 12:30
 - ①三重県農業研究所 地域連携研究課（松阪市）
 - ②株式会社浅井農園 キウイフルーツ農場（玉城町）

3. 検討事項

テーマ 「産地を取り巻く環境変化に対応するための新たな果樹生産の取り組み」

1) 研 究 会

(1) 話題提供

- ①「防風ネットを用いた極早生ウンシュウミカンの日焼け対策技術の検討」
(三重県農業研究所 菅原康太郎)
- ②「モモの早期多収を実現する省力樹形の開発」
(農研機構果樹茶業研究部門 山根崇嘉)
- ③「水稻育苗ハウスを活用したブドウ栽培」
(新潟県農業総合研究所 根津 潔)
- ④「果樹を中心とした事業多様化への取り組み」
(株式会社浅井農園 浅井洋平)

(2) 総合討論

(3) その他

2) 現地検討会

(1) 集合場所 ローソン津駅前店前 ※借上げバスで移動

(2) 現地視察

①農業研究所 地域連携研究課（松阪市）

・アボカドの盛土式根圏制御栽培

・アライグマなどの中型動物に侵入防止効果を発揮する柵の改良

②株式会社浅井農園 キウイフルーツ農場（玉城町）

(3) 解散場所 松阪駅（JR・近鉄）

4. 参集範囲

関東東海北陸地域各都県行政・試験研究機関、農林水産省農産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、農業・食品産業技術総合研究機構中日本農業研究センター、果樹茶業研究部門、その他部会長が必要と認めた者

5. その他

参加申し込み、資料提出、その他の詳細については、別途事務局（三重県農業研究所）から連絡する。

6. 連絡先

三重県農業研究所 生産技術研究室 地域連携研究課（三井友宏）

TEL : 0598-42-6356

農研機構 果樹茶業研究部門果樹生産研究領域（児下佳子）

TEL : 029-838-6451